



特 集 あすぴあ、小川駅再開発ビルへ移転・・・期待することは？

小平市の「小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備基本計画（素案）」が発表されました。小川駅西口に28階建てのビルが建設され、1～3階までは商業スペース、6階から上は住居スペース、4・5階を小平市が取得し、公共施設が入る予定です。計画（素案）によると、移転する公共施設は、西部市民センター内の施設（市役所西部出張所、小川西町公民館、小川西町図書館）及び、小平市民活動支援センターあすぴあ、小平市男女共同参画センターひらくです。ビル完成は、令和4年度（予定）となっています。

（参照）https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/files/77219/077219/att_0000002.pdf

せっかく一緒になるのだから、協働して相乗効果が生まれるといいのではないか、ということとで、「連」では、小平市民活動ネットワークの会員団体に、意見を聞いてみました。

1、移転について知っていますか。

知っている（9）、知らない（1）、やや知っている（1）

2、あすぴあ移転に関しての期待及び要望

（あすぴあが図書館、公民館と一緒になることで、出来ること等）

- ◆ 今の元気村とは違う層、市民活動とは、接点がなかったような方々とのアプローチのきっかけになれば良い。
- ◆ 小川駅に接続できる複合施設内に入ることで、あすぴあの知名度、利用率がアップすることは期待。（現在の場所より遠くなる人の足は遠のくかもしれない）
- ◆ 公民館とあすぴあが、「武蔵野プレイス」のような機能融合が果たせれば、生涯教育と市民活動支援それぞれの役割がより強化される。
- ◆ 元気村まつりのような展開はむつかしくなるが、図書館、公民館と共に催すというような、新たなNPOフェスタを模索できる。
- ◆ 駐車場の問題とか、雨でも濡れずに会館に入れるか等を期待。
- ◆ 地域の情報資料などをまとめたコーナーが図書館にできるといい。
- ◆ イベント情報/実際の活動の状況が把握しやすくなる

- ◆ いろいろな人が集まる場ができ、より多くの地域情報が入りやすくなる
- ◆ 市民があすぴあを知り、市民活動のきっかけに触れること。新たな利用者の開拓。公民館講座受講者が活動の場を市民活動に繋げていく流れがされること。
- ◆ 図書館、公民館との連携での講座や講演会、まつり等でさらに市民に身近なアプローチ。
- ◆ 学生が市民活動を知る、始めるきっかけになる。
- ◆ 市民が情報に触れる機会の拡大。必要な情報を選択する力の醸成。市民が自ら必要とする情報を求め、作り、伝える場。
- ◆ 連携によって実施できる事業について意見交換を行うための連絡会の設置と連携会議の開催。
- ◆ 大きな共通テーマを設定し、合同開催でイベント開催。健康、環境、福祉と地域づくり、子どもの健康、子育て等。

3、新しい建物への行き方は？どのくらい時間がかかるか。（徒歩、自転車、電車等）

自転車で45分／電車で30分／徒歩で42分／自転車で30分／電車で20分／車で10分／徒歩で30分／電車で15分など

アンケート回答からは、あすぴあの認知度があがり、情報も豊富になることへの期待が多くみられました。新施設での「祭り」や講座・講演会等々、協働で開催することによるメリットも、多くの団体があげています。そのためには、各施設間の情報交換や協議の場がとても大切になります。移転する前からの情報交換・情報共有が必須と考えています。 （文責 伊藤）